



「こんにちは 市長です」

4月20日号

「通学バス」は定着している。こんな平たん地で通学バスを23台も動かしているまちはないのではないのか。通学に時間のかかるところに住んでいればその分お母さんの負担が大きい。「早く、ご飯食べな。遅刻するよ」と慌ただしい朝になる。交通事故だって確率は増える。不審者の心配もある。社会科見学で校外に出るときなどは保護者からバス代を負担してもらおうのが通例だけど、太田は通学バスを使って無料。「あれ、いいですよ」と言われたことがある。

通学バスを「市民（高齢者）の足」に使えないか、中学生や高校生にも使ってもらおうと試行している。自転車通学が多い。車から見る彼らの運転ぶりにハラハラすることもしょっちゅうだ。我が物顔して走る。昨年、市内の自転車に関する事故発生件数は297件もあった。道路事情は決して良くはない。そこで、中・高校生にも利用してもらえないか、さらに免許証を返納した高齢者にも、と欲張ってみたいと思っている。「葦川～休泊～九合」「藪塚～新田～尾島」の東西2路線に8台を「無料バス」として試行運転している。年間利用者は東バス1万1300人、西バスで2万7000人、ますますの数字にはなっている。できるだけ早く通学バスを利用して市内全域に伸ばしていきたいと思っている。ただ、厄介なのは「乗ってくれるか」だ。「近くにバス停がない」「行きたいところに行けない」、限りあるバスの台数、限りあるお金、そして複雑な組み合わせになる。誰か、お知恵を拝借願えないだろうか。

いよいよ5月1日、元号が『令和』になる。国は連休を10日間としたけど、そのまま休めるはずもない。1日には婚姻届が増えると予想されるし、医療機関が止まったら大変。極力不便をかけないようにしたのでご理解を。